

顕彰事業

(この方に、この賞を! ぜひご推薦ください)



顕彰事業

社会ボランティア賞

青少年の部

国内外で誠実に責任を果たし継続的に活動している人、地域社会密着型のボランティア活動を地道に行い、貢献している12~25才までの学生またはグループを顕彰します。

社会人の部

国内外で誠実に責任を果たし継続的に活動している人、地域社会密着型のボランティア活動を地道に行い貢献している人、グループ。または日常生活の中で、女性の自立などを様々な形で援助している個人またはグループを顕彰します。

環境貢献賞

大気汚染、土壌汚染、水質汚濁、省エネルギー、ゴミの少量化、分別化、緑化などの分野で地球の環境保全に貢献している個人またはグループ。または環境問題を通じて国際協力している個人またはグループを顕彰します。

青少年指導者育成賞

次の世代を担う若者の中からリーダーを育成するために誠実に活動している指導者を顕彰します。

千 嘉代子賞

国際理解促進あるいは国際文化交流に顕著な功績のあった日本人に贈呈します。



援助事業

国内・国際奉仕

財団の目的に適合する活動を行う個人またはグループに対して援助します。

国際ソロプチミストアメリカプロジェクト

・女性に機会を与える賞 (WOA)

教育や職業訓練によって自己の雇用状況と家族の生活水準を向上させるために財政的援助を必要としている女性を援助します。特に扶養家族に対して主な経済的責任を負っている女性を考慮します。

・ヴァイオレット・リチャードソン賞

地域や学校でボランティア活動に従事する若い女性を表彰します。この賞は、ソロプチミストの初代会長にちなんで設けられました。

・女性のために変化をもたらす賞

自らの専門職やボランティア活動を通して女性と女性の生活を向上させるために努力した女性を称えます。



クラブ賞

女性栄誉賞

【対象・資格】ソロプチミスト6分野(経済的社会的開発奉仕・教育奉仕・環境奉仕・人権/女性の地位・国際親善と理解活動)の少なくとも一つの分野で10年以上にわたり地域社会で顕著な業績を積んだ女性を表彰する。

発行

2005年6月30日

国際ソロプチミスト熊本-さくら

広報委員 三井邦子・関 幸枝・續 玲子

例会日時/毎月第3水曜日

10:00~13:00

例会場/ホテルニューオータニ熊本



私たちの歩み No.8

2004年7月~2005年6月活動報告

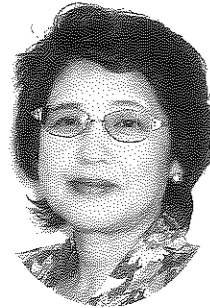


国際ソロプチミスト
熊本-さくら



ごあいさつ

国際ソロプチミスト熊本-さくら
第11期 会長 須古 久美子



昨年10周年を終え、今年度は「シンプル&スロー」でと、考えていました。しかし、リジョン機構改革の年にあたり、委員会の構成も変わり、手探り状態での

始まりでした。

更に、連盟より「ルネッサンスキャンペーン」が打ち出され、「女性と女性の生活の向上」という共通使命に焦点を絞り、世界のソロプチミストがゴールをめざすというものです。

国際ソロプチミスト熊本-さくらの主な活動、高校生対象の「さくら奨学金」、「さくらパーティ」、DV被害者支援「さくら基金」は、正に、ルネッサンスキャンペーンの目的そのものです。私達の活動

は「世界のソロプチミストの活動」と自信を持って言えると思います。ボランティア活動は社会の情勢によって、変化していきます。地域はもちろん、世界という大きな視点を持って活動を続けたいと願っています。

現在、ユースフォーラムの準備をしています。3クラブが協力すると、大きな力が生まれることを実感しています。

今期新たに、会員お二人をお迎えすることができました。私達にとって大きな喜びです。更なる友情を築き、楽しく活動していられることを望んでいます。

この一年間、例会に楽しく出席し、機構改革を取り入れつつ無理せず活動に参加するという目標をやってきました。会員はじめ、多くの方々のご協力のおかげで、充実した活動ができましたことを、心より感謝申し上げます。

ソロプチミストは……

- ・ ビジネス、専門職、その他の生活面で高い倫理基準を保ち、
- ・ 全人類の人権の獲得、特に女性の地位向上のために努め、
- ・ 全世界のソロプチミストの間に友愛と一体の精神を啓発し、
- ・ 奉仕の人間理解の精神を高揚し、
- ・ 国際理解と世界友好に貢献することを目的としています。

国際ソロプチミスト熊本-さくら 役員名

2004年7月～2005年6月

会長	須古 久美子
副会長(第1)	西釜 幸子
副会長(第2)	伊東 美禮
レコーディング	飯田 貴美子
コレクティング	成松 真理子
トレジャラー	小笠原 明子
アシスタント	森 由美
1年理事	片山 紘子
2年理事	土井口 哲子
デレゲート	関 幸枝

さくらパーティー(青少年育成事業)

2004.11.6

2004.11.7 熊日新聞掲載

2004.10.16 募集記事 (熊日掲載)

女子高校生対象 エイズ学習会
来月6日、参加無料
働く女性をつくる、国際ソロプチミスト熊本-さくら(須古久美子会長)は十一月六日、熊本市花畑町の市国際交流会館で、

対象を女子高校生に限定し、妊娠など性の問題を幅広く取り上げる。講師は熊本市の保健師松本邦代さん。エイズ予防の啓発に取り組みするグループも参加し、意見交換する。受け付けは午後一時から。参加無料。十八日締め切り。問い合わせは坂本さん(096(343)6734)。

講師 保健師 松本 邦代氏



真剣に話を聞く女子高校生たち

さくらパーティ参加協力校

熊本県立 済々黌 高校
熊本県立 熊本 高校
熊本県立 第一 高校
熊本県立 第二 高校
熊本信愛 女学院 高校
熊本国府 高等学校
熊本 慶誠 高等学校

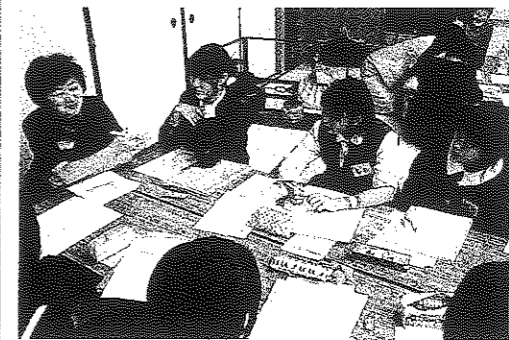
他人事じゃないエイズ

熊本市花畑町の市国際交流会館で六日、HIV(エイズウイルス)感染や妊娠をテーマにした学習会があり、集まった女子高校生はグループに分かれ、自分の意見を発表するなどしてエイズや性感染症について学んだ。

HIV感染や性感染症が低年齢化する中、高校生に正しい性知識を身に付けてもらうと、ボランティアに取り組みする「国際ソロプチミスト熊本-さくら」(須古久美子会長)が開いた。三回目。

市内の七校から約五十人が参加。同市保健所の松本邦代さん(左)が、エイズや性感染症の患者数、感染の仕方を説明。エイズに感染する可能性

「悩むより行動」女子高校生ら討論



はだれにでもある。エイズを自分のこととして考え、予防法を学んでほしいと訴えた。高校生らは七グループに分かれ、「もし大切な人がエイズに感染したら」「もし自分がエイズになったら」「もし自分がエイズになったら」のテーマで討議。「ショックを受けて誰にも相談できないかも」「勇気があれば啓発活動に参加したりしたい」など、それぞれの考えを語った。

参加した済々黌高三年の西林聖佳さん(心)は「意見発表でエイズをより身近に考えることができた」と話していた。

エイズについて話し合う高校生＝熊本市花畑町の市国際交流会館

担当委員会より

女子高校生にとって重く、奥が深い「テーマ」ではありましたが、身近な問題としてとらえ、皆真剣に考え、沢山の意見を出してくれました。「エイズについて」の勉強会も、3回を迎えましたが、学校の理解も高まり、参加学生も増えています。自分自身を大切にすることは、周りの人をも大切にすることにつながるという、人間としての基本を学ぶ機会を広げていくことは、私共ソロプチミストの大きな活動であると考えています。



勉強会のお茶席で、和やかな交流

クラブユースフォーラム

2005.6.11

テーマ「今、世界平和を考える
～女性として、地域社会からできることは何?～」

くまもと県民交流会館 パレア
9F 第一会議室



回りを審査員が囲み、少々緊張気味?

熊本市内の3つのソロプチミストクラブが合同でユースフォーラムを、開催。熊本市内の11の高等学校から、25名の参加者を得て、テーマに沿ったディスカッションを行った。自分の意見を発表し、また人の意見を聞き、更に考えを述べるというディベートを初めて体験した学生もいた。前もって提出していた論文も審査に加味され、各クラブ1名を選出し、8月2～3日、長崎での本選に臨む事になった。



国際ソロプチミスト熊本-さくら推薦
熊本県立第二高等学校
戸石川 由衣さん



参加学生、ファシリテーターの先生
各クラブ会長・リジョン委員 揃って笑顔

参加校(順不同)

- | | |
|------------|----------|
| 熊本信愛女学院高校 | ルーテル学院高校 |
| 熊本中央高校 | 文徳高校 |
| 県立熊本工業高校 | 県立第二高校 |
| 県立熊本北高校 | 県立第一高校 |
| 市立必由館高校 | 慶誠高校 |
| 熊本フェリス学院高校 | |

卓話

「地球に生きるものとして」
～口から食べ物から考えること～
熊本市地域保健福祉課
課長補佐 吉良直子



2005.1.19

寄付

新潟中越地震
熊日本社にて



2004.11.12

★これまでのさくらパーティ

- 1998. 1月 さくらインターナショナルパーティ (国際交流会館)
留学生と市内の小中高生達と交流し、日本文化を学ぶ。
- 1999. 4月 魔女おばさんの話 (産業文化会館・子供文化会館)
広い会場での読み聞かせと、間近に幼児達に読み聞かせる違いを知る。
- 2000. 5月 植物を描こう。ポタニカル・アート (植物園)
子どもたちが花や葉を観察して、画用紙いっぱい楽しく描いた。
- 2001. 5月 薬物乱用防止キャラバンカー (第一高等学校)
ダメ・ゼッタイのテーマのもとに薬害の恐ろしさを学ぶ。
- 2001. 10月 由緒あるピアノと共に歌いましょう。志岐由理子さんのソロとコーラス演奏会。
- 2002. 11月 「リビング・ウィズ・エイズ インくまもと」
- 2003. 10月 エイズ学習会 (市内高校生対象)

主な継続活動

2004年7月～2005年6月

*さくらチャリティバザー 2004.9.12 2004.9.13熊日新聞掲載



陶器など会員が持ち寄った約300点を販売したチャリティバザー。熊本市大通町のびなばす広場

●国際ソロプチミスト熊本-さくらがチャリティバザー10日、上通町のびなばす広場であった。働く女性がつくる同団体(須古久美子会長、34人)が、毎年開いており11回目。会員が持ち寄った陶器、タオル、食料品など約300点を販売。値段が市価の半額とあって、大勢の人でにぎわった。オープン前から品定めする主婦の姿も。売り上げ見込みは約30万円。益金は、福祉施設への寄付や世界の働く女性の支援などに役立てる。

*赤い羽根共同募金 2004.10.1



*ユニセフ ハンド・イン・ハンド 2004.12.12



*ふれあい作業所訪問 (毎月訪問)



*慶誠高校Sクラブ入会式 2004.12.24



*奨学金授与 第II期 さくら奨学生 2名 2005.4月

「国際ソロプチミスト熊本-さくら」
奨学金授与



顕彰事業

クラブ内表彰 2004.12.15



会長・担当委員・理事メンバーとともに

熊高ボランティア発信局の活動
命のメッセージ展協賛(びぶれす広場)

社会ボランティア賞(青年の部)推薦
熊高高校ボランティア発信局 "Hand in Hand"

熊高ボランティア発信局は、2001年に発足。特定の人に限らず、多くの生徒にボランティアの情報を発信する役目を担いたいとの願いを込めて、「発信局」と命名した。
また、「Hand in Hand」とは、「手に手を取って」という意味。出会いを通して自分と違う価値観を発見し、互いを認めていく、そのきっかけを発信していきたいと思っている。

顧問 岩下ハヤミ先生

研修

「ルネッサンスキャンペーンの取り組みについて」研修 2004.11.12

講師 日本南リジョンルネッサンスキャンペーン推進委員会
委員長 緒方世喜子氏



日本南リジョンの機構改革についての勉強を県内7クラブ合同で研修を行った。

国際ソロプチミストアメリカ
第19回 日本南リジョン大会

2005.4/14~15 於:長崎市



新入会員

入会式2005.6.15



緊張気味の宣誓



メンバーシップ委員・紹介者・理事メンバーと共に



松永あやみさん



岡崎 尊子さん

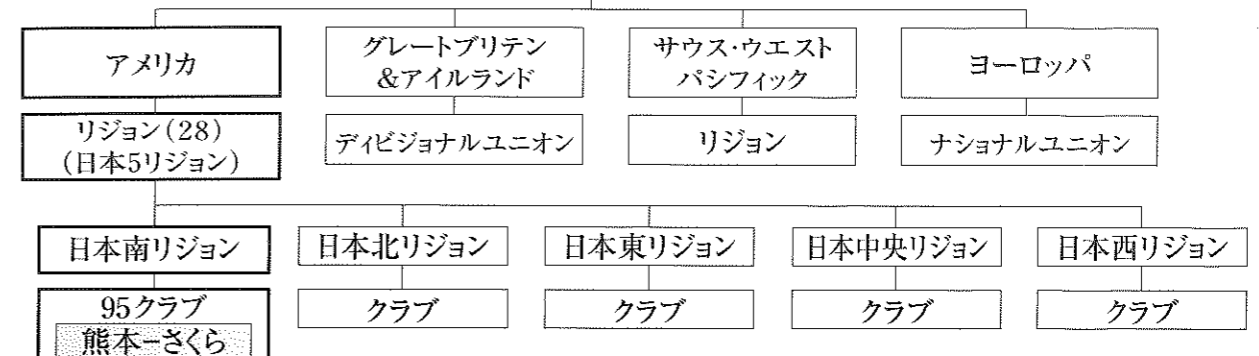
国際ソロプチミスト

1921年に「高い倫理基準」「人権と女性の地位向上」「友愛の精神」「奉仕の精神」を目的にアメリカのオークランドで創立された。専門職、または管理職にある女性たちが組織しているボランティア奉仕組織です。現在125の国および地域におよそ3,200余りのクラブと約93,000名の会員が地域社会や世界各地で様々な形の奉仕を実行しています。

日本では、2005年1月現在、549クラブ、約15,000人の会員が在籍しており、日本南リジョンは日本の5つのリジョンの1つとして、2005年5月現在、94クラブ、2643名の会員を擁しています。教育・保健・環境・人権と女性の地位・国際親善と理解・経済的社会的開発の各分野において、社会奉仕のプログラムを通じて、地域社会で活動を行っています。

組織図

国際ソロプチミスト 本部/ケンブリッジ



※熊本県内のソロプチミストクラブ

(国際ソロプチミスト→略称 SI)

	SI熊本	SI玉名	SI熊本すみれ	SI人吉	SI八代	SI熊本さくら	SIまつばせ
認証日	1979.2.9	1983.12.11	1987.2.5	1987.2.23	1988.5.22	1994.3.3	1999.6.3
会員数 (04.6.30現在)	46名	20名	47名	19名	31名	35名	16名

国際ソロプチミスト熊本-さくらの主な活動

〈継続の奉仕事業〉

国内

チャリティーバザー
チャリティー講演会
ふれあいワーク支援
(社会福祉法人わくわく)
青少年育成事業
(名称さくらパーティ)
赤い羽根街頭募金協力
ユニセフハンドインハンド募金協力
慶誠高校Sクラブ支援
さくら奨学金(高校生)
さくらDV基金

国外

アンコール・フレンズ基金
アフリカ難民救済支援
地雷犠牲者援助
谷口プロジェクト(エイズ孤児奨学金)
ユネスコ・ユニセフ事業協力
ハビタット(国連人間居住センター)支援

〈その他〉

災害地への見舞金
顕彰事業への推薦
ユース・フォーラム
熊本犯罪被害者支援